

# Q11 環境という面からの社会貢献活動について、教えてください。



## A1 地域における環境コミュニティ形成の支援、清掃ボランティア活動、森林整備などを行なっています。

環境問題に対応する基本的な認識を示した「NTTグループ地球環境憲章」で、私たちは「地域住民、行政などと連携した、日常的な環境保護活動への支援に努める」ことを基本方針の一つに掲げています。2002年度も、各地域で活発な保護・整備活動を展開し、意見交換などを行ないました。

### 地域社会と密着した、多様な環境活動の展開拠点「エコロジー・コミュニティ・プラザ」

NTT東日本岩手支店とNTT西日本滋賀支店は、地域社会に根ざした環境保護活動の情報提供・交流の場として、「エコロジー・コミュニティ・プラザ」を設置しています。地域の環境保護活動団体や子どもたちのネットワーク形成、環境保護活動への参画、環境セミナーの開催などを展開しています。さらにNTT東日本青森支店ではインターネット上のプラザを開設し、自治体などと協働した多様な活動を開始しています。このような取り組みが評価され、2002年度は環境保護活動団体、行政、NPOなどから提案、意見・情報提供を求められたり、役員、委員などの要請を受ける機会が増えています。今後、全国への展開を計画しています。

### 地域環境の美化・清掃活動「環境クリーン作戦」

1988年より、各支店の社員やその家族、OB・OGなどが主体となって、公園・海岸・河川敷や事業所周辺などの清掃・美化活動に取り組んでいます。

2002年度は、NTT西日本岐阜支店とグループ会社の社員による長良川河川敷の清掃活動、NTT東日本岩手支店の若手社員が主体となり、グループ・協

力会社、支店の社員、家族など200人が参加した盛岡市中心部の清掃活動など、日本各地で延べ20,000人以上が参加しました。



9月14日、夏休みで汚れた長良川を美しくしよう運動（岐阜県岐阜市）に参加した社員と家族

### 植樹や森林整備活動「ドコモの森」

「ドコモの森」とは、自然環境保護活動の一環としてドコモグループで実施している森林整備活動です。林野庁の「法人の森林（もり）」制度および（社）国土緑化推進機構の「緑の募金」制度を活用して1999年から行なっています。

この森づくりは、植樹や間伐、散策道の整備といった林業体験を通じ、豊かな生態系と美しい景観を保全するとともに、ドコモ社員がその家族、地域の方々と交流を深めていくことを目的としています。

2002年度は、愛媛県と三重県に加え、NTTドコモ営業開始10周年にあたり、その記念事業として関東甲信越の1都9県の10カ所で展開し、延べ約700人の社員が参加しました。



9月28日、ドコモ都幾川三境の森（埼玉県都幾川村）で、植樹・間伐・遊歩道整備・ベンチ作りに参加した社員たち



9月28日、ドコモ鹿野山の森（千葉県富津市 / 愛宕国有林）における枝打ち作業の様相

# Q12 自治体や教育機関、NPOなどといっしょに環境保護活動を行なうことはあるのですか？



## A1 市民参加型の環境情報ネットワークへの参画、温暖化防止への呼びかけなど、2002年度も多彩な活動を行ないました。

### 滋賀県および岩手県で、循環型社会モデルの実践を目指す共同研究プロジェクトに参画

NTT東日本、NTT西日本、NTT環境エネルギー研究所は、滋賀県と岩手県をフィールドに、環境共生型の地域づくりと循環型社会モデルの実践を掲げて、行政、小中学校、市民団体、大学、環境専門家などと連携した共同研究プロジェクトを展開してきました。滋賀県においては、「びわこ市民研究所」「びわこNPOネット」、岩手県においては「岩手環境ネットワーク」という名称で、共同プロジェクトを立ち上げています。

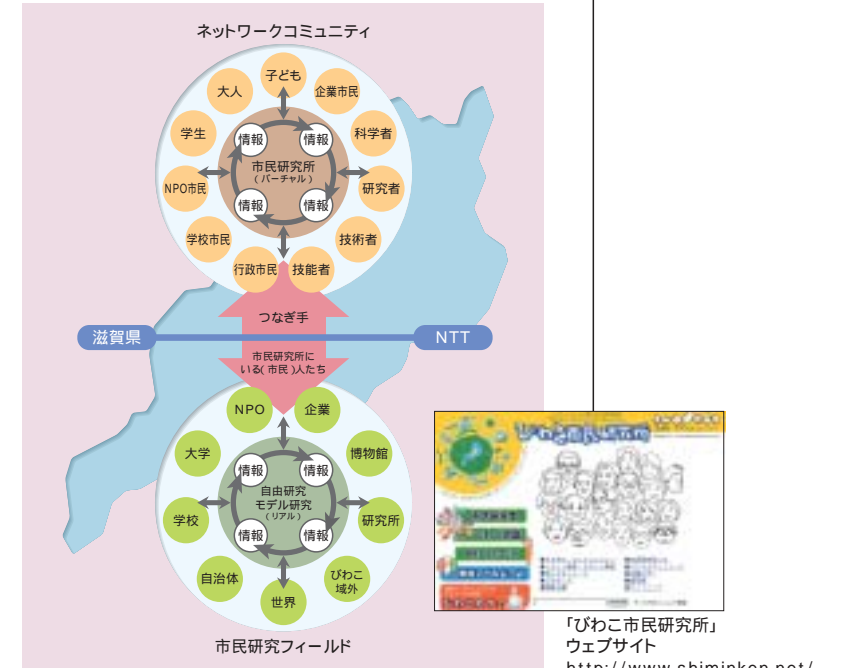
「びわこ市民研究所」では、びわこの環境を守る地域ポータルサイト内に「研究室」を設け、身近な環境や暮らしに関する、市民の手による自発的な研究を応援しています。

「びわこNPOネット」では、たとえば「ボランティアを募りたいNPO 参加したい市民」の情報交換などができる、IT活用による市民参加活動を支援するしくみの検証を進めています。

### 「GRIガイドライン電気通信産業補足文書」の策定に協力

企業を取り巻く社会全体が急速に変化している中で、GRI(Global Reporting Initiative)が策定する「サステナビリティ報告（企業などによる自発的な持続可能性報告）」の実質的な世界標準を目指すガイドラインは、2～3年毎に見直されています。現在、GRIガイドラインでは、各業種・分野に合った指標を示す補足文書の作成が進められています。2002年にNTTグループは、GRI、国連環境計画（UNEP）、GeSI(Global e-Sustainability Initiative)が設けた電気通信産業補足文書策定のためのワーキング・グループにアジアから唯一参画し、各国の電気通信事業者、通信機器サプライヤ、環境研究機関、人権団体、労働組合などと共に補足文書の策定に協力しました。

このほかWBCSD（持続可能な発展のための世界経済人会議）への参加、GEA（地球環境行動会議）への参加など、国内外の団体と連携した環境保護活動を行ないました。



NTTグループが応援している、市民参加型共同研究プロジェクト「びわこ市民研究所」

「びわこ市民研究所」ウェブサイト  
http://www.shiminken.net/

### 「環境goo」内の共同サイト内に、温暖化ストップに向けたアクションを呼びかけるウェブサイトを開設

NTT-Xは、（財）世界自然保護基金ジャパンと共同で、京都議定書の発効を促進する参加型のウェブサイト「私のCO<sub>2</sub>減らします宣言」を開設し、2002年4月から本格運用を行なっています。

温暖化の原因であるCO<sub>2</sub>を、国民一人ひとりの取り組みによってどのくらいの量が削減できるのかが一目でわかるように、具体的な取り組み項目のアンケート調査・集計機能などが設けられています。2003年3月末現在、このウェブサイトの主旨に賛同された109,937名の人々がネット上で「減らします宣言」をしています。



「私のCO<sub>2</sub>減らします宣言」ウェブサイト  
http://eco.goo.ne.jp/wwf-go4kyoto/



藤川 豊  
（株）NTT-X  
goo編成本部